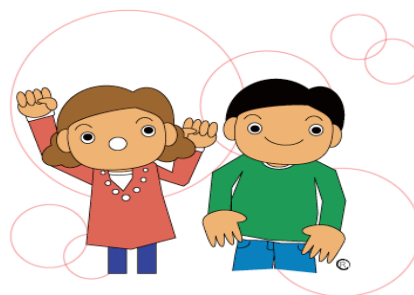


失語症を持つ本人と家族の思い シンポジウム

* 全国失語症患者家族会の成り立ち *

全国失語症患者家族会は 2009 年 10 月に発足した WEB の会です。NPO 法人全国失語症友の会連合会に属していた当事者の家族が、家族だけが分かり合えるつらい思い、悩み、又喜びなどを共有・共感できる環境を作りたいと、立ち上げたメーリングリストの会です。



失語症を持つ者の家族は、ある日突然障害を抱えた家族を支えるために、物心両面での重圧に押しつぶされそうになっています。その気持ちを少しでも和らげ、お互いに励まし合い、失語症のある人の社会環境を少しでも良くしていきたいという、思いで、あふれております。

これまで、全国失語症患者家族会では NPO 法人全国失語症友の会連合会と共同で厚生労働省や内閣府、障害者制度改革推進会議等々へ以下のように改革を要請する陳情を繰り返してまいりました。

- ・失語症の身体障害者手帳の等級、障害年金の等級の見直しの要望書
- ・内閣府の障害者マニュアルの中、障害者総合福祉法の中にも、コミュニケーション障害関係の対象は視覚聴覚障害者に限定、失語症という障害への門戸解放の要望等々

微力な家族会ではございますが、今後とも、なにとぞよろしくご支援お願いいたします。

全国失語症患者家族会 代表 園田 尚美

* 開催にあたって *

第 1 回は「失語症者の働きたいを考える」としました。近年、中高年者・若年者の失語症者が増加しております。失語症を持っている障害者の就労率は約 7%、他の障害者の約 25% に比べ極端に低くなっております。失語症者の障害者枠での一般企業の就労は無理なのだろうかと思う昨今です。であるならば、社会保障の観点から失語症者の生存権を確保しなければなりません。市長・医師・言語聴覚士・失語症の当事者・家族でのパネルディスカッションを含めて、考える機会にさせていただきたいと思っております。

講演会開催責任者 赤嶺 愛子

了後

16 時半、17 時、